

議 会 報 告

相模原市議会議員

みす城太郎 城熱通信 スクラム

発行日 令和5年10月
 発行 さがみみらい
 責任者 三須城太郎
 相模原市中央区中央2-11-15
 ☎042-769-1398

令和5年相模原市議会定例会9月定例会議が8月25日(金)から9月29日(金)までの36日間をかけて開催されましたのでご報告致します。

議案

議案につきましては、令和4年度相模原市一般会計歳入歳出決算や様々な特別会計歳入歳出決算、相模原市簡易水道・下水道事業会計決算、令和5年度相模原市一般会計補正予算（第5号）、議提議案、委員会提出議案、様々な条例改正などを含む計32件の議案が上程され、全て認定・可決・同意されました。

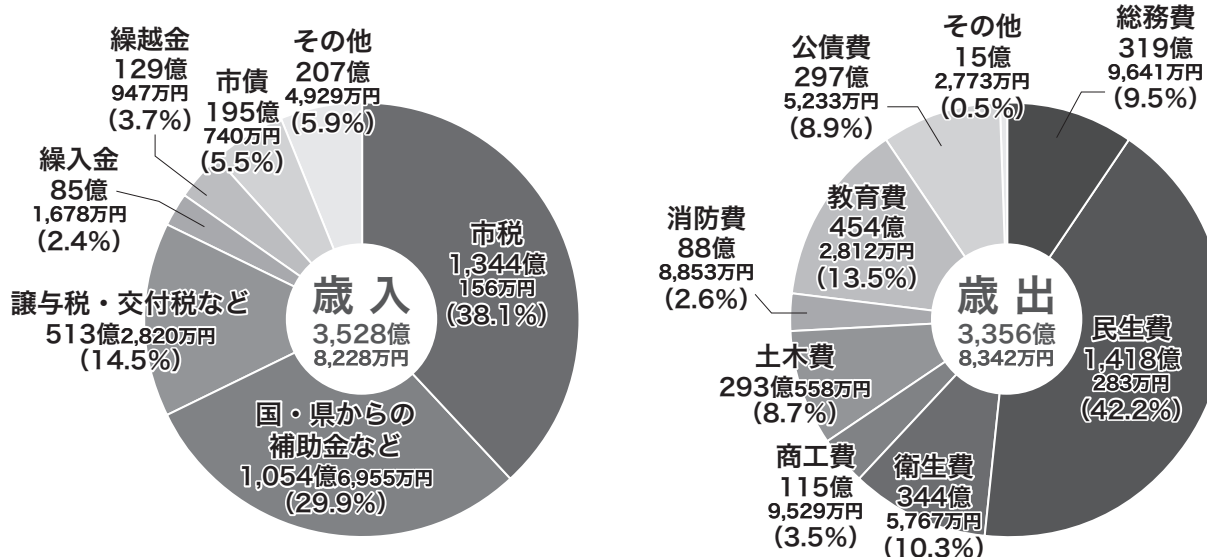


令和4年度 決算 を認定！

9月の議会は昨年度の決算を審議する議会です。一般会計の決算額は、歳入総額が3,528億8,228万円で前年度と比べると105億2,519万円（3.1%）増額となり、地方交付税や国庫支出金が減少した一方、市税、地方消費税交付金及び繰入金の増加などにより全体として増加となりました。歳出の総額は3,356億8,342万円で前年度と比べると186億3,580万円（5.9%）増額となり、主に物件費、補助費等及び積立金などが増加したことにより、全体として増加となりました。

歳入歳出差引額である形式収支は175億8,354万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は159億8,928万円の黒字となりました。

一般会計決算の構成



一般質問

本定例会議では、2期目初めてとなる一般質問を行い、今回も地域の方や市民の方の声を基に質問をしました。下記の通り抜粋して内容を報告致します。

1. より利用しやすい施設に向けて
 - (1) 相模原麻溝公園スポーツ広場の充実について
 - (2) 相模原スポーツ・レクリエーションパークの熱中症対策について
 - (3) 利用しやすいバスケットコートについて
 - (4) 喫煙所の設置について
2. 共働き世帯への支援について
 - (1) 負担軽減に向けて
 - (ア) 学校の長期休業期間における児童クラブでの昼食提供について
 - (イ) 「子育てタクシー」利用者への助成について
 - (ウ) 旗振り活動を含めた児童の安全確保について
 - (2) 児童の様子・登園を確認できるシステムの導入について
 - (3) 放課後子ども教室の拡充の考え方について
3. 市民の安全を守るために
 - (1) 歩行者の安全を守るために

利用しやすいバスケットコートについて**質問**

今回整備した2つの公園（スポレクパーク・麻溝公園）のように地面をアスファルト舗装してほしいと利用者からの声を多数聞いている。地面を舗装することにより、より使い勝手の良い施設となるが、コート面の改修について見解を伺う。

答弁

コート面の改修については、他の公園利用者の安全確保のための立地や広さ、現在の利用状況とともに、ドリブルする音による周辺環境への影響なども踏まえ、検討していく。

要望

これからまた、バスケット人気が高まることが予想され、利用者の増加が考えられる。是非、利用者が各公園に分散されるよう、また、より利用しやすいバスケットコートとなるよう、コート面の改修を要望する。

学校の長期休業期間における児童クラブでの昼食提供について**質問**

児童クラブでの昼食提供について、夏休みなどの学校長期休業期間に、市立児童クラブを利用する際は、弁当を持参することとなっているが、利用する多くは共働き世帯であり、非常に負担が大きい。児童クラブにおける昼食の提供についての考え方について伺う。

答弁

市立児童クラブでの昼食提供について、すでに昼食提供を実施している自治体の事例を参考に課題整理に努めてまいる。

要望

長期休業期間中の昼食提供については、多くの共働き世帯が望んでいる。実現すれば共働き世帯への負担軽減に大きく寄与すると思われる。課題の整理に努めて、可能な限り早い実現を希望する。

歩行者の安全を守るために**質問**

交差点内の横断歩道部にボラード（車の侵入止め）を設置することにより、車が交差点内の歩行者だまりに侵入する事故を防ぐことができ、歩行者の安全を守るために有効と考えるが、今後の整備の考え方について伺う。

答弁

横断歩道にボラードを設置することで、歩行者の安全性は高まるが、一方で歩行者、特に高齢者や視覚に障害のある方などにおいては、横断歩道を通行する際の支障となることから、今後他市の先行事例における状況を参考にするとともに、設置する場合は、交通管理者とも協議する必要があると考えている。

要望

歩行者、特に視覚障がいのある方への妨げになる可能性も考えられるが、視覚障がい者の横断の手がかりになる「エスコートゾーン」を設置して、その渡り切った先にはボラードを設置しないなど、工夫の仕方はある。是非、大津のような悲惨な事故が、本市では発生しないよう、歩行者や子ども達を守るためのあらゆる対策に取り組んで頂くことを要望する。